

服用に際しては、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

和漢薬製剤

腰 専 門

第2類医薬品

腰痛は、①腰部筋肉の具合が悪い時、②腰部に来ている神経具合が悪い時、③腰部付近の臓器が具合の悪い時に、おこるといわれています。いずれも、入浴したり、体を温めたりするのが、良いようです。

生薬の中には、薬湯の例のように、体を温めるものがあり、これは内服しても同じように、体を温めるものです。本品は、このような生薬や体全体を丈夫にする生薬を選び、服みやすい丸剤としました。

腰痛対策には、歩行や運動をして、足をよく使うこと、入浴をして体を温めることも、重要なことといわれています。

本品は、下記の12の薬用植物成分が総合的に働いて、腰痛をはじめ、各種神経痛等を和らげます。

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
 - 胃腸が弱く、下痢しやすい人
- 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、下痢

- しばらく服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

【効 能・効 果】

腰痛、血の道症^{注1)}、関節痛、神経痛、肩こり、手足の疼痛^{注2)}・しびれ感

〈効能・効果に関連する注意〉

注1) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴ってあらわれる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

注2) 疼痛（とうつう）とは、ずきずき、じんじん痛むことです。

（裏面もお読みください）

【用法・用量】

次の量を、1日3回食間に白湯又は水で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	15丸	3回
8才以上15才未満	7丸	
5才以上8才未満	5丸	
5才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関する注意〉

- (1)定められた用法・用量を守ってください。
- (2)小児に服用させる場合は、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)食間とは食後2～3時間を指します。

【成分・分量】1日量(45丸)中

ニンジン末……0.15g トウキ末……0.3g ヒシノミ末……0.2g
ジオウ末……0.3g ジュウヤク末……0.3g タクシャ末……0.2g
ニンドウ末……0.3g コケモモ葉末……0.3g ドクカツ末……0.2g
センキュウ末……0.3g ガジュツ末……0.25g ニュウコウ末……0.2g
添加物として寒梅粉、炭酸Caを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わる場合があります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。使用期限は外箱に記載しています。

【お問い合わせ先】

明治製薬株式会社「お客様相談窓口」
電 話 076-476-1111
受付時間 9:00～16:30(土、日、祝日を除く)

発売元

明治製薬株式会社

本社 富山県滑川市中川原77

製造販売元

天恵堂製薬株式会社

佐賀県佐賀市蓮池町蓮池234
TEL 0952-97-0036